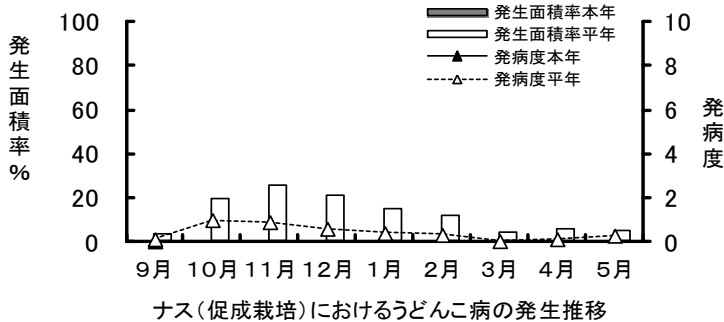


平成27年10月6日

高知県病害虫発生予察9月月報及び予報第7号(10月) 野菜類ダイジェスト版

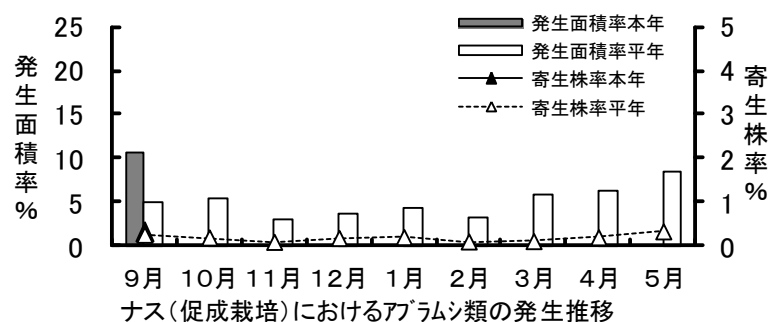
● 促成ナス(東部・中央部)

うどんこ病 発生量:少



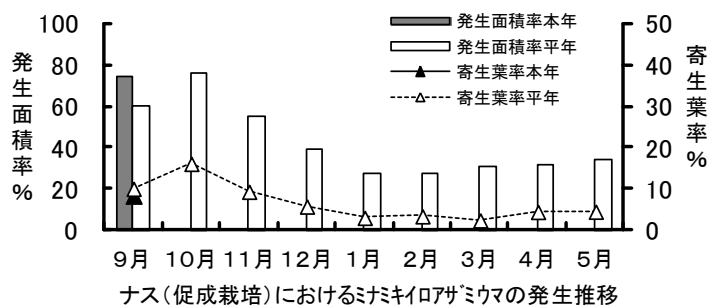
巡回調査では、発生は確認されていません。しかし、今後の天候によっては病気が発生する可能性がありますので、温湿度管理、草勢管理を適正に行い、発病を認めた場合には初期から薬剤防除を行いましょう。

アブラムシ類 発生量:多



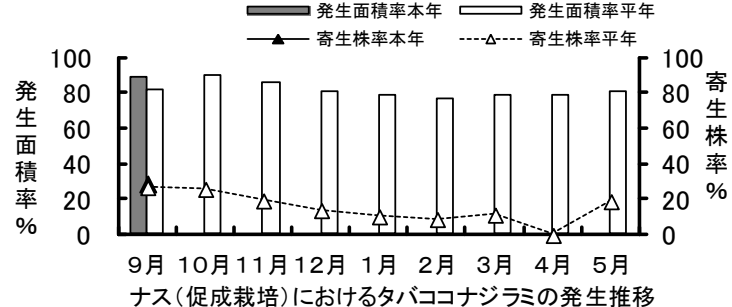
巡回調査では県東部で多発生でした。天敵の定着のため、防除対策が遅れ気味になっているほ場が見られます。本虫は増殖が早いので発見したら、直ちに防除してください。

ミナミキイロアザミウマ 発生量:並

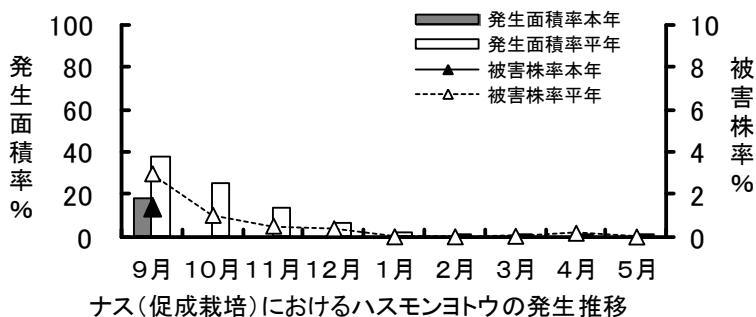


巡回調査では、ミナミキイロアザミウマ、タバココナジラミともに、県東部、中央部で平年並～やや多発生でした。特に天敵導ハウスでは、天敵の定着までにさらに両種の密度が上昇する場合がありますので、密度が高いほ場では、微生物製剤や選択性殺虫剤等での防除が必要になると思われます。

タバココナジラミ 発生量:並



ハスモンヨトウ 発生量:少



巡回調査では、県東部でやや少発生、県中央部では少発生でした。野外の密度も平年と比べて少なめとなっていますが、薬剤散布の減少により、突発的に発生することがあります。よく発生状況を観察して、発生初期に防除するようにしてください。

ハダニ類 発生量:多



巡回調査では、県東部、中央部ともに多発生でした。本虫は増殖が早いので、発生をよく観察し初期防除に努めてください。天敵導入ハウスでは薬剤の選定に留意してください。